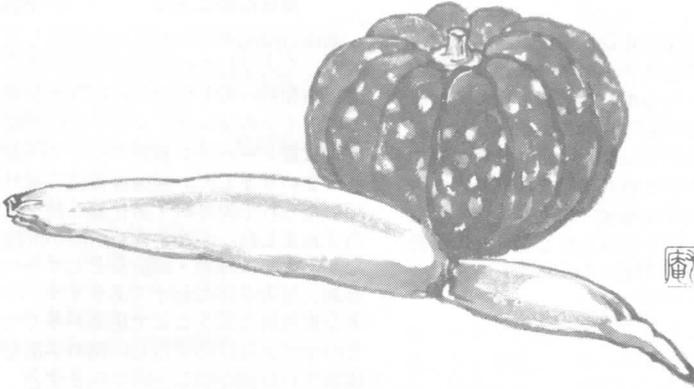




会報



THE ROTARY CLUB 鶴岡ロータリークラブ
OF TSURUOKA

斎藤得四郎氏 絵

第704回例会 1973.5.22 (火) はれ No. 45

例会日 火曜日 12時30分

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひ さ ご や

事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内

会長 阿 部 囊 幹事 市川輝雄

Let's Take A New Look!

「もう一度 見直そう」

出席報告

本日の出席		
会 員	数	67名
出 席	数	50名
出 席	率	74.63%
前回の出席		
前 回 出 席	率	66.15%
修 正 出 席	数	58名
確 定 出 席	率	89.23%
欠 席 者		

阿宗君、張君、長谷川君、早坂(源)君、平田君、池内君、田中君、嶺岸君、三井

(徹)君、三浦君、斎藤(信)君、斎藤(信)君、佐藤(伊)君、笹原君、津田君、富樫君、板垣君

メイクアップ

五十嵐(伊)君—酒田東RC

阿宗君—新庄RC

藪田君—米沢RC

風間君、森田君、五十嵐(三)君、海東君、吉野君、嶺岸君、谷口君、小松君、富樫君—鶴岡西RC

早坂(源)君、三井(徹)君、斎藤(信)—外国

■ピジター 梶田信順君—京都東RC
工藤武樹君—鶴岡西RC

会報はご家族みんなで読みましょう

■ロータリーソング 「手に手つないで」

○高橋良士君

▷会長報告

○当クラブと鶴岡西RC、加茂水族館の共催で鶴岡中学校の生徒さんたちの旅行を水族館まで21日実施いたしました。私も行ってきました。生徒は小学生で40余名、教師10余名、父兄が5名の参加でした。生徒は全体で視力が弱い子供たちのため水族館で親切に手でタコや魚をさわらせて感触で動物の実体をたしかめて有意義な催しでありました。特に校長先生よりクラブの皆様によく御礼をお伝えして欲しいとのことでした。

推せんのごとは 小花盛雄君

高橋君は昭和26年鶴岡高を卒業し東京医科大学、全大学院を経て昭和39年医師資格を取得、昭和42～43年小児外科の研究を命じられて西ドイツのブレーメンの小児科病院の小児外科教授レーバイン教授について研鑽をつまれてまいりました。帰国後母校の槇外科の講師になられ小児外科・消化器外科を専門に担当されました。が昨年宮原病院が医療法人になります時に理事・副院長としてその創立に参加、尽力されたわけであります。昨年着任来小児外科と云うことで患者が多くつめかけその中で非常にめずらしい例の手術を執刀、成功された例を申し上げます

▷幹事報告

○会報到着

天章RC

○例会変更

山形北RC 5月24日 木 PM6.00
産業会館 6F

山形北RC 5月31日 AM 11.00
家族会のため
山銀宮町支店前出発 万松寺

山形RC 5月30日 PM6.00 嘯月
クラブフォーラムのため

○認証状伝達式のおしらせ

山形ロータリーアクトクラブ認証状伝達式
6月24日(日)12時

山形県勤労者福祉センター

○6月23・24日地区協議会について鶴岡西RCより案内がまいりました。義務出席者は安藤次期会長、小松次期幹事、鈴木次期クラブ奉仕委員長、五十嵐(一)次期職業奉仕委員長三井(徹)次期社会奉仕委員長、新穂次期国際奉仕委員長以上です。

○新会員の推薦に関する氏名発表

次の1名の方が会員候補者として推薦され所定の手続きを経ましたので氏名発表致します。

若し会員の中で下記会員候補者の入会に反対される方がありましたら書面でその反対理由を具して理事会まで(幹事宛)10日以内にご送付下さい。

高橋辰美

日本生命保険相互会社 山形支社
荘内営業部長(団体保険)

— 高橋会員のごあいさつ —

今ご紹介をいただきました高橋です。今般小花先生のご推せんでご会に入会させていただきましたことになりました。誠に光栄に存じます。未だ若輩未熟でありますので何分よろしくご指導いただきたいと思ひます。

【履歴書】

生年月日 昭和7年6月30日
自宅 鶴岡市神明町6-17
会社 医療法人 宮原病院・副院長
奥様 高橋多恵子様昭和11年3月21日生
ご結婚 昭和37年12月5日
お子様 高橋典子さん 9才
よしゆき
高橋由至君 3才

ご出身校 東京医科大学 大学院
趣味 ゴルフ、カメラ

○山本 隆 男 君

推せん者のことば 黒谷正夫君

山本隆男君は昭和7年9月29日の生れです。

自宅 鶴岡市山王町1—38

会社 明治生命保険相互会社 鶴岡営業所長

奥様 山本律子様

誕生日 昭和4年10月16日

ご結婚 昭和33年5月13日

お子様 山本宗隆君 14才

山本由美子さん 12才

山本希美子さん 10才

ご出身校 弘前大学文理学部卒

ご趣味 ゴルフ

前会員でした橋浦君の後任の方です。ご紹介を終わります。

—— 山本隆男君のごあいさつ ——

ご紹介いただきました山本です。北海道の釧路に3月まで勤務しており、4月から当地にごやっかいになっております。とかく私の仕事などは皆さんにキラワレがちなのですがこういう社会奉仕活動を通じて何んらかのお役に立ちたいと思っております。未だ土地不案内にて今後色々お世話になることと思いますがよろしく御願います。

▷卓 話 「み仏の心」

法然院 梶田信順貫主

私は京都東RCの会員で職業分類は仏教です。私、僧侶ですのでは何か有益なお話が出来るようなのだとおおもいでしょうが、いたって口べたです。或る時私は末寺の和尚に頼まれて、秋のお彼岸の読経にまいりました。田舎の寺でしたので高座に上がりましてお説教をしておりますと私の目を蠅がウロロして非常にわずらわしい。説教を終わって控室に帰り、フトその時のことを思い出して

「説法の 師をあなどりて 秋の蠅」

この俳句が浮びました。私は幼時より俳句を愛好し今もホトトギスに自らの心を句にょんで出しておりますが、この句のように私はいたって口べただと思っている次第です。

仏法の事を少しく申し上げます。「菩薩戒經」というお経があります。これは一つの内ましめを書いたお経であります。その中に十戒が書いてあります。

- 1 殺生戒 人を殺してはいけない
- 2 偷盜戒 物を盗んではいけない
- 3 邪淫戒 よこしまな男女の愛をしてはいけない
- 4 妄語戒 嘘を、いつわりを云ってはならない
- 5 ヲ酒戒 酒を売ってはならない
- 6 ジサンキタ戒 自分をほめて、他人をそしってはいけない
- 7 セツジュウカ罪 法を説いている人をそしってはいけない
- 8 ケントン戒 物おしめをしてはいけない
- 9 シンギ戒 怒ってはいけない
- 10 ヒホウ戒 仏をそしってはいけない

しかし、この十戒をまもると云うことは大変なことではなかなか出来ません。が、やはり戒を保っていると非常に心が、いつも清浄になります。大体、仏教と云う教えは一口に云って「悪いことはしない。良いことをする」そして「自分の心を清める」と云うのが仏の教えであります。やはりこの十の戒を守ることによって自分の心が清浄になるのです。

ここに、ロータリー精神を換言すれば「心を清浄にする」と云うことが一つのロータリー精神ではなかろうかと思っております。しかし「行なう」と云うことは「云うが易く行なうは難し」であります。

孟子は「気は心をうつす」と云っております。居る場所によって人間の気持は変わってまいります。私は色々な例会に出席いたしておりますが、こんなに和やかな雰囲気のある例会にマークしたのは始めてであります。従って親睦と云う意味に於ても非常に効果的だと思えました。これが即ち「気は心をうつす」であります。置る場所によってその気持ちになるのです。

私のクラブは今年ホストクラブになりました。10月21～22日京都の国際会議場で365地区の地区年次大会を行います。その翌日10月22日は京都3大祭のジダイ祭があります。〔5月15日葵祭、7月17日祇園祭〕どうか、お暇が

ありましたら私達の地区大会においで下さい。

[編集子よりお詫び この卓話の中のカタカナの部分について一部誤りがあるかもしれませんが、この点お断りしておきます]

少しく私事を申し上げます。

仏教で法を説くのを説教と云います。一般には口で説きます。この説教にも色々あります。

- ・エーゴウ説法 依心伝心で心から心へと伝えること
- ・シンゴウ説法 身で行なうもの
- ・ショウゴン説法 所謂「気は心をうつす」です。お寺にまいりまして非常に美しくショウゴンされておる、その前に座ると何んだか極楽へ遊びに行ったような気持を起します。

私の寺はショウゴン説法です。他の寺と非常に違いますのは仏様のことを非常に丁重におかざりしております。「みせる」のではなく「拜んでいただく」ようにしております。私のお寺はお金をとって一般拝観はさせておりません。勿論国宝もあります。

「仏様をおかざりしている所は、どんなに丁重におかざりをしてしても良い。しかし自分らの生活は非常に質素にせよ」教えの一つです。私の寺では一切金らんを着ない非常に質素な生活をしています。住職は茶色の衣に茶色の袈裟、一般修業僧侶は黒衣です。日々の生活はきびしい掟がありそれを守っております。蚊がとんでくる、ピシャリと殺してはいけません。衣でフワリとはらい、慈悲の心をもってはらい、と教えております。変ったお寺であるをご記憶下さい。もしも京都におこしの場合私のお寺においでになり「みせていただけませんか」と云われますと、弟子が玄間でお断りいたします。「おがませていただけませんか」と云われますと丁重にご本堂に案内しお座敷の方も見ていただく風にしております。お寺は「おがむ所」「手を合わす所」で「見る所」ではないことをご記憶下さい。

最後に私の寺は京都の銀閣寺のすぐとなりで法然院と云います。今から700余年前に法然上人が一応念仏教が広まり、70才を越えられた時に静かに隠棲してそこで念仏を申そうと云うことで隠棲された所であります。